

タカラ電気温水器

取扱説明書

保証書別添

ふる自動湯はり・給湯温度設定機能付

「時間帯別電灯」対応通電制御型 / 深夜電力通電制御型 (8時間) 切替型

高圧力型電気温水器

標準圧力型電気温水器

もくじ

EM-2033KKU-SA EM-3733KU-SA EM-3733K-SA
EM-2033KU-SA EM-4633KU-SA EM-4633K-SA

コントローラセット : EMSA-CSK

メインコントローラ
EMCS-1



フロコントローラ
EBCS-1



フロコントローラ : EBCS-2K



コントローラセット : EMSA-CS (M)

メインコントローラ
EMCS-3



フロコントローラ
EBCS-3



このたびはタカラ電気温水器をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、工事説明書とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。

事業者様へのご案内

高圧力型電気温水器を一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には、諸条件が義務付けられています。詳しくは40ページをご覧ください。

対象機種名...EM-2033KKU-SA、EM-2033KU-SA、EM-3733KU-SA、EM-4633KU-SA

この温水器は申請により、通電制御型として料金割引が適用になります。

(契約電力制度によっては、料金割引がない場合もあります。)

ご使用の前に、必ず最寄りの電力会社営業所または据付工事店にご確認してください。

取り替え設置の場合でも、忘れずご確認ください。

適用機種にはそれぞれ、右記のマークが表示されています。

ご使用の前に

- ・特に注意していただきたいこと 1
- ・ご使用にあたってのお願い 5
- ・各部の名称と働き
電気温水器 本体 6
コントローラ 8
- ・準備 12
- ・現在時刻の設定 14
- ・契約電力制度の設定 15

ご使用方法(基礎編)

- ・湯沸しモードの設定 17
- ・沸増しのしかた 18
- ・湯沸し停止日数の設定 19
- ・給湯温度の設定 20
- ・ふる温度、湯はり量の設定 21
- ・自動湯はり運転のしかた 22
- ・入浴中の操作 22
- ・ふる予約運転のしかた 25
- ・おたすけコックの使いかた 26

ご使用方法(応用編)

- ・スイッチ操作音の設定 27
- ・表示の設定 28
- ・設定を元に戻す 30

メンテナンス

- ・凍結予防のしかた 31
- ・使用しないときは 31
- ・日常のお手入れ 33
- ・定期点検のおすすめ(有料) 35

困ったときは

- ・故障・異常の見分けかたと処置方法 ... 36
- ・アフターサービス 39

その他

- ・事業所設置の際の規定事項 40
- ・仕様 42



特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください。

ご使用前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は、次のようになっています。

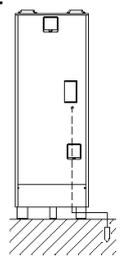
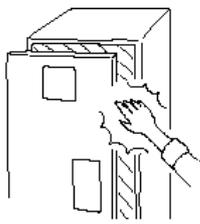
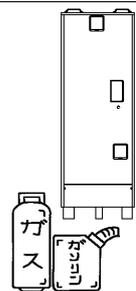
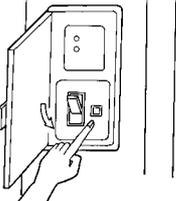
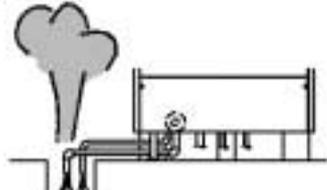
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。

図記号の意味は、次の通りです。

	禁止行為（してはいけないこと） 絶対に行わないでください。
	行為の指示（必ずすること） 必ず指示に従って行ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

警告

<p>絶対に分解・修理・改造しないこと 火災、感電、けがの原因になります。 修理は販売店にご相談してください。</p>  <p>禁止</p> 	<p>アース工事されているか確認すること 故障や漏電の時に感電するおそれがあります。 アースの取り付けは販売店にご相談してください。</p>  <p>確認</p> 
<p>前面カバーを開けないこと 感電のおそれがあります。</p>  <p>禁止</p> 	<p>温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと 発火することがあります。</p>  <p>禁止</p> 
<p>漏電しゃ断器の動作を確認すること 漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電時に感電するおそれがあります。</p>  <p>確認</p>  <p>➡ P 33 日常のお手入れ</p>	<p>給湯・排水時は熱湯に触れないこと やけどすることがあります。</p>  <p>接触禁止</p> 

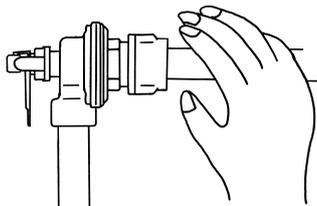
警告

逃し弁点検時は、内部の配管・逃し弁排水管に手を触れないこと

やけどすることがあります。



接触禁止

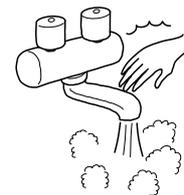


給湯時は混合水せんのハンドル以外の部分に手を触れないこと

やけどすることがあります。



接触禁止



給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行うこと

浴室でシャワーを使用しているときなどは、やけどすることがあります。



確認

シャワー使用時や入浴時は、最初に手で湯温を確かめること

やけどすることがあります。



確認



子供だけで浴室内で遊ばせないこと

浴槽のフロアダブタ付近に近づいたり潜ったりすると、思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

おたすけコックはタンクの湯温が下がってから使用すること

取水時に熱湯が出たり、ホースが熱くなるなどで、やけどすることがあります。



確認

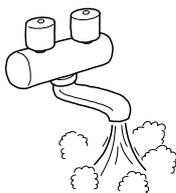


使いはじめはやけどに注意すること

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。



注意



浴槽にお湯がないときは、高温たし湯スイッチ・たし湯スイッチを押さないこと

やけどすることがあります。

浴槽にお湯がないときでも、フロアダブタから熱いお湯が出ます。

浴槽やフロアダブタのお手入れを行うときは、特に注意してください。



禁止

浴槽のフロアダブタのカバーをはずしたまま使用しないこと

やけどなど、思わぬ事故を起こすことがあります。



禁止

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

使用前に

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の変化などにより水質が変わることがあります。

飲用される場合はやかんなどで沸騰させてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・あついお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに点検の依頼を行ってください。



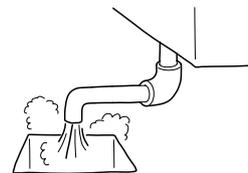
禁止

タンクの熱湯は直接排水しないこと

やけどや排水管を傷めることがあります。



禁止

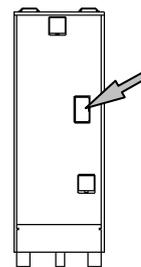


本体操作部のふたは閉じておくこと

ショート、感電することがあります。



確認



タンクを満水にしてから電源を入れること

故障の原因になります。



確認

➡ P 12 準備

逃し弁の点検をすること

タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながることがあります。



確認

➡ P 34 日常のお手入れ

1ヶ月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。



確認

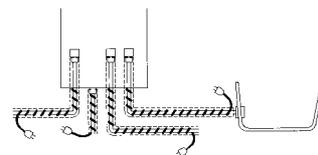
➡ P 31 使用しないときは

凍結予防対策の確認をすること

凍結するとタンクや配管が破裂して、やけどや水漏れをすることがあります。



確認

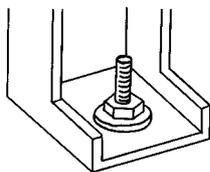


脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。



確認



床面が防水・排水処理されていることを据付工事店へ確認すること

水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながることがあります。



確認



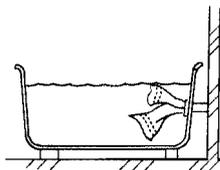
浴槽のフロアダプタをふさいだり、はずしたり、回したりしないこと

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。



禁止

➡ P 33 日常のお手入れ

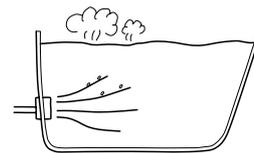


自動湯はり、高温たし湯、たし湯を行う場合は、浴槽のフロアダプタ付近から十分に離れること

やけどすることがあります。



注意

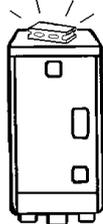


⚠ 注意

機器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしないこと
事故、やけど、水漏れの原因になります。



禁 止



冬場に漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にするときはタンクと配管内の水を確実に抜くこと
配管が凍結し、水漏れすることがあります。



確 認

特殊用途には使用しない

一般家庭の使いかた以外では使用しないでください。
能力不足や思わぬ電気料金がかかったり、製品の性能、品質低下や、寿命が短くなることがあります。



禁 止

異常時は、漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にする

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。



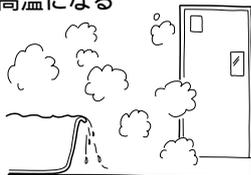
確 認

ご使用にあたってのお願い

ご使用の前に

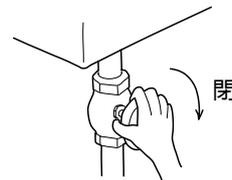
温水器を浴室など湿気の多い場所に取り付けられていないか確認すること。

- ・感電、誤動作の原因になります。
- ・メインコントローラは、屋外や浴室などの湿気の多い場所やガス燃焼機器のそばなど高温になる所に取り付けしないでください。誤動作の原因となります。浴室にはフロコントローラを取り付けてください。



温水器の止水せんがどこにあるか確認すること

- ・タンク内の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水は止まります。
- ・ふだん温水器を使用しているときは開いておきます。

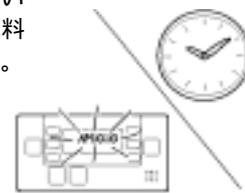


夜間時間帯のご使用について

温水器は主に夜間時間帯にお湯を沸かします。そのため夜間時間帯にお湯を使用すると、翌日の湯量が少なくなったり、昼間に沸増しをして電気代が高くなる場合があります。

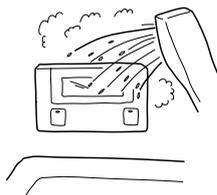
コントローラの時刻を確認すること

現在時刻がずれている場合は、時刻を合わせ直してください。時刻がずれているとタンクのお湯を沸かす時に電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になる場合があります。



コントローラーに水をかけないこと

コントローラーに水をかけると故障の原因になります。



お湯を上手に使うこと

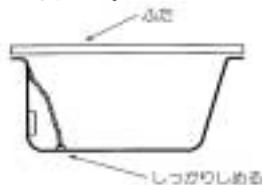
- 1日に使用できるお湯の量には限りがあります。
- ・お湯は容器に受けて使いましょう。
- ・シャワーは出し放しにしないでこまめに止めましょう。



自動湯はり運転をするときのお願い

自動湯はり運転をするときは、次のことを確認してください。

- ・浴槽の残水を排水して排水せんを閉じる。
- ・浴槽にふたをする。



「高温たし湯」「たし湯」についてのお願い

高温たし湯、たし湯を行うと浴槽のフロアダプタから、熱いお湯が出ます。お子さまや高齢者の方の取り扱いについては、特に注意してください。

契約した電力制度を変更するときは、販売店へ連絡し、電気配線工事の依頼をすること
この温水器は時間帯別電灯と深夜電力切替タイプです。

契約の電力制度に合わせて電気配線工事と温水器本体の設定を切替える必要があります。誤った設定で使用すると、電気代が高くなる場合があります。

各部の名称と働き（電気温水器 本体）

使用前に

電気温水器本体

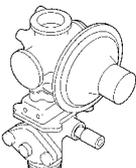
逃し弁操作部

カバーの中に逃し弁があります。逃し弁の点検や排水時などに操作します。



減圧弁

水道の圧力を一定にします。

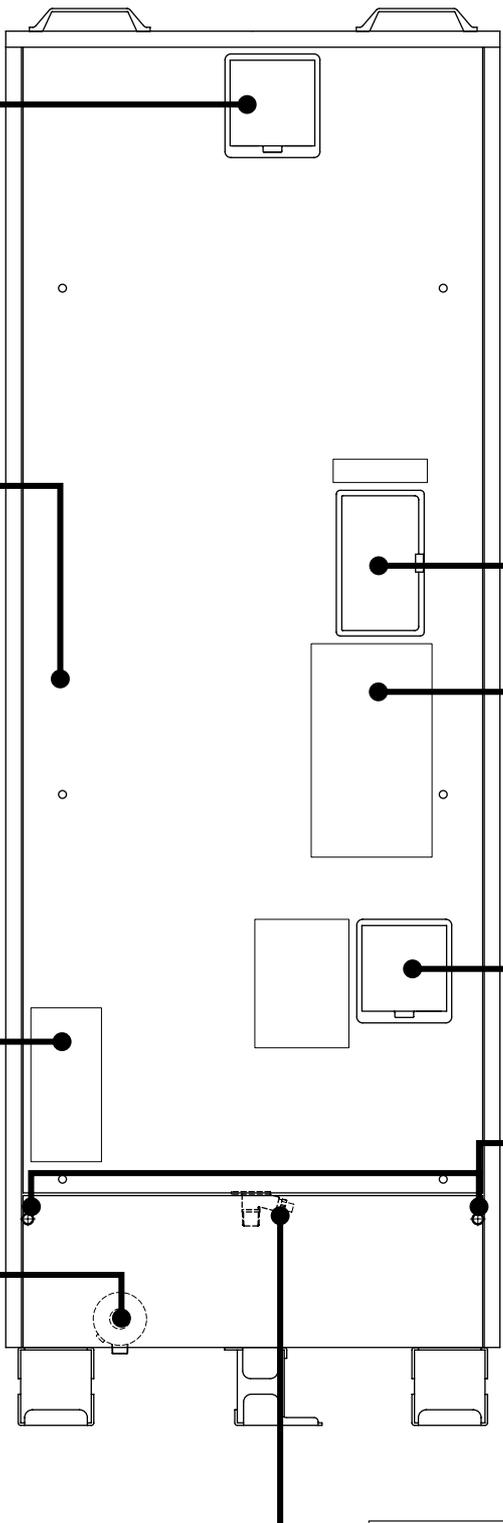


定格表示シール

製品名、品番、製造番号が記載されています。

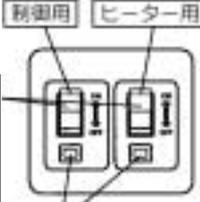
排水せん操作部

タンク内の水を抜く時に操作します

本体操作部

フタを開けると、漏電しゃ断器の電源レバーがあります。



漏電しゃ断器電源レバー
200V電源の「入」「切」操作レバーです。使用中は常に「入」にしてください。

テストボタン

漏電しゃ断器が正常に動作するか確認するボタンです。200V電源が供給されている時にボタンを押すと漏電しゃ断器レバーが「切」になります。

安全上の注意シール

必ずお読みください。

おたすけコック（非常用取水口）操作部

カバーの中におたすけコック（非常用取水口）があります。断水時などはここから湯や水を取り出せます。

配管カバーねじ

両側のねじをはずすと配管カバーがはずせます。配管カバーの中に排水せん、水拔せんがあります。

水拔せん操作部

配管内の水(湯)を抜く時に操作します。

各部の名称と働き（電気温水器 本体）

本体据付図

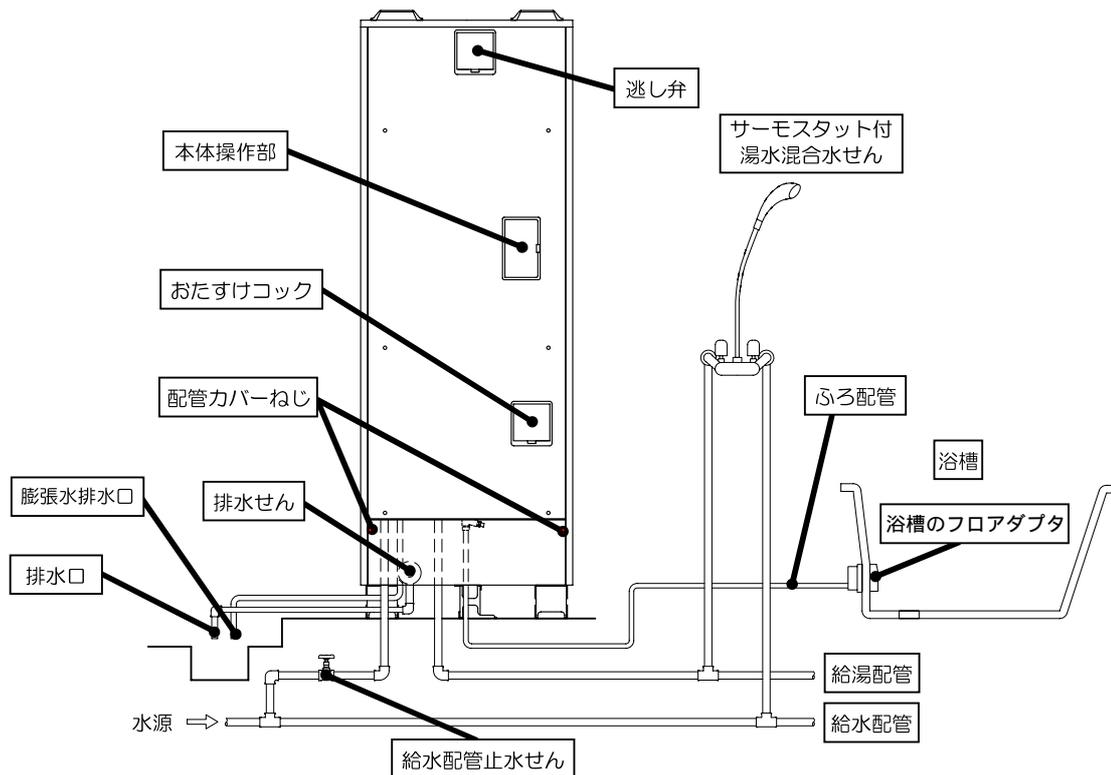
屋外設置標準配管例
地域や設置場所により工事内容が若干異なることがあります。

排水口 タンクの排水のときに、湯や水が出ます。

膨張水排水口 湯沸し時の膨張水が出ます。

給水配管止水せん 水源の「開」「閉」に使用します。

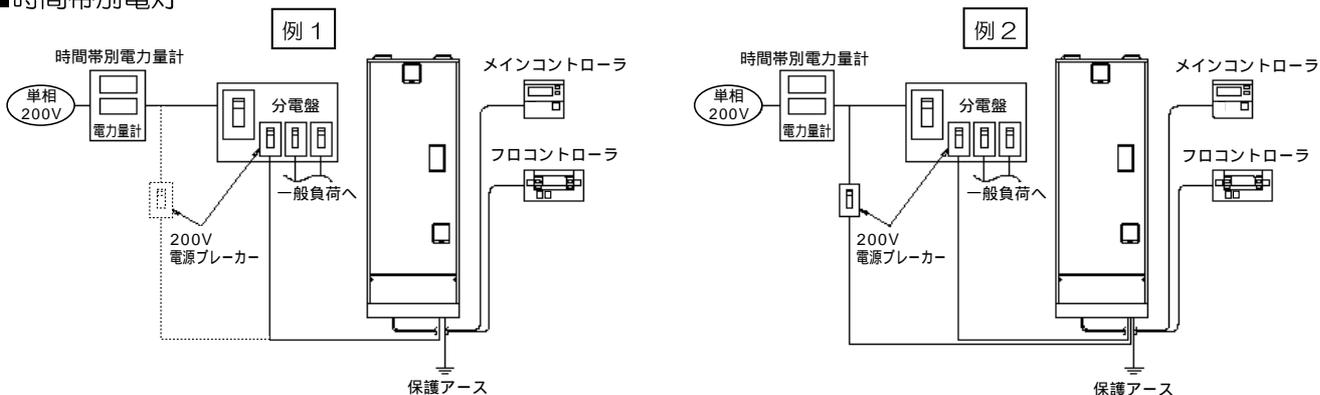
使用前に



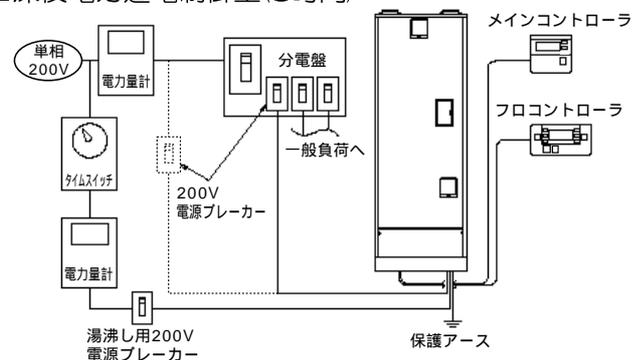
配線例

時間帯別電灯と深夜電力通電制御型（8時間）の電気配線例
電力制度及び電気配線回路は据付工事店に確認してください。

■時間帯別電灯



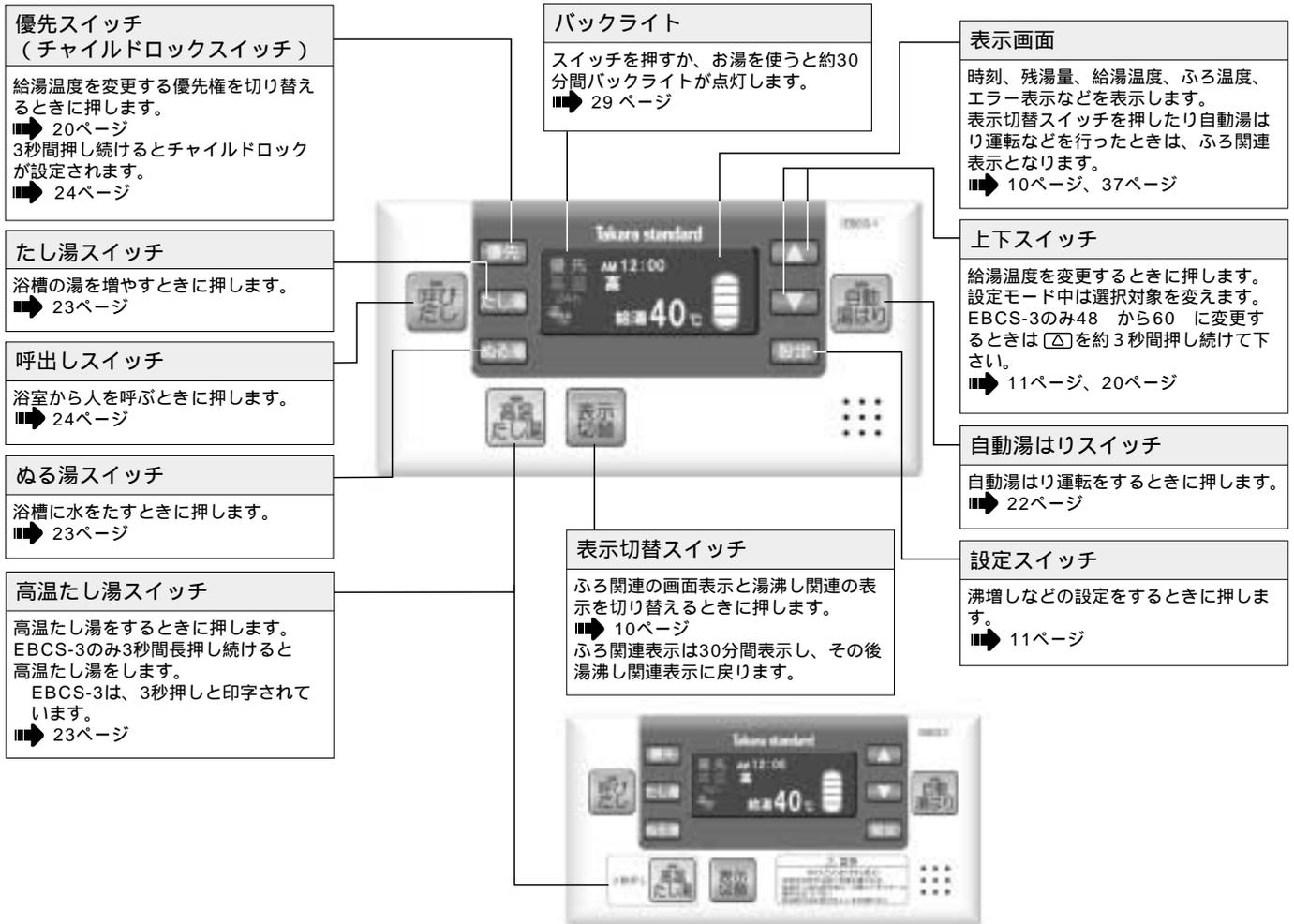
■深夜電力通電制御型（8時間）



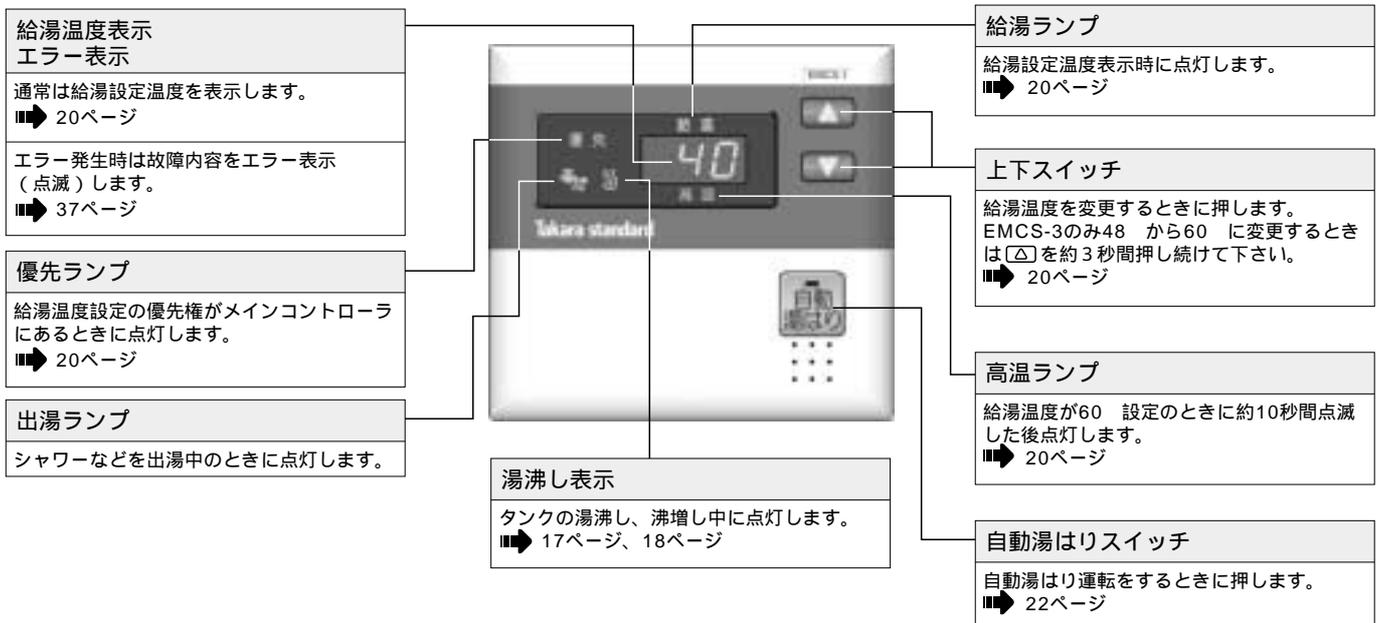
各部の名称と働き (コントローラのはたらき)

使用前に

フロントローラ EBCS-1, EBCS-3



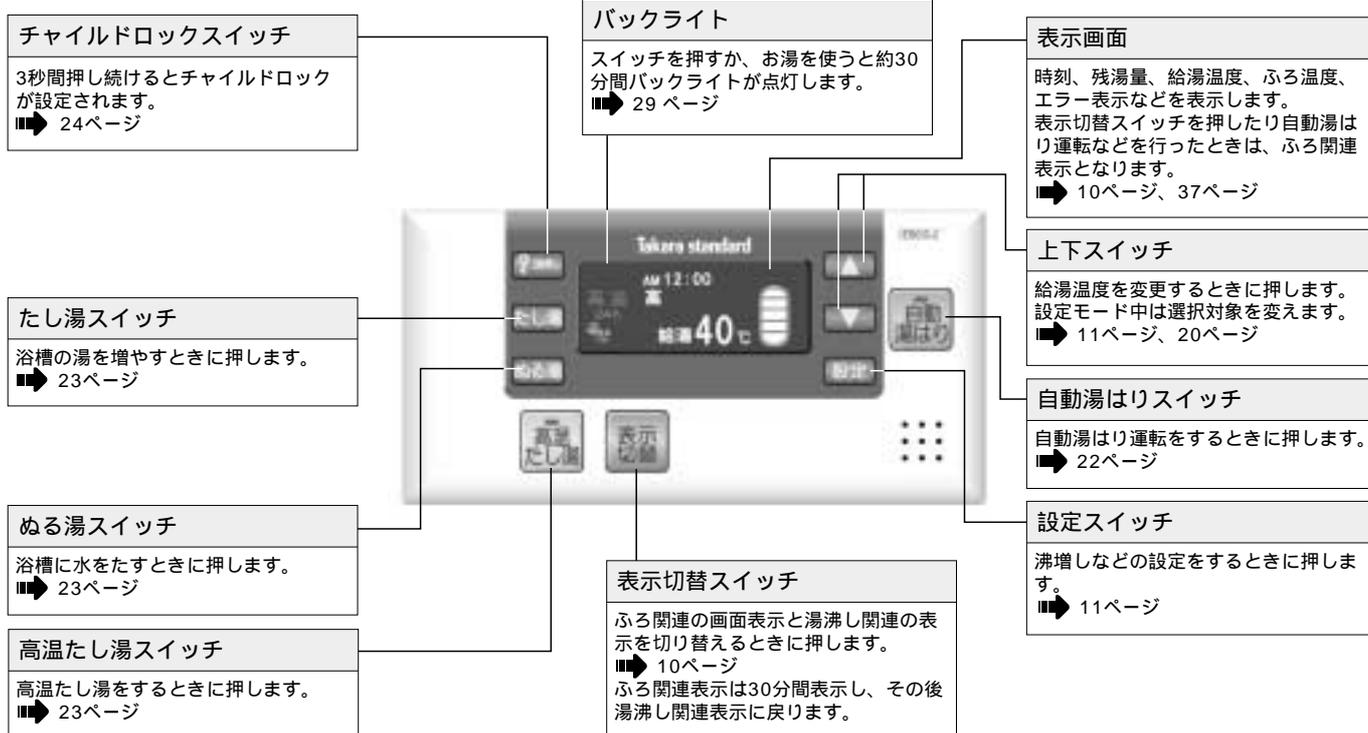
メインコントローラ EMCS-1, EMCS-3



各部の名称と働き（コントローラのはたらき）

フロコントローラ EBCS-2

使用前に



各部の名称と働き（フロントローラ）

設定モード

フロントローラの **設定** を押すと設定モードに入ります。

設定項目	設定項目	内容	初期設定	ページ
給湯温度		給湯温度を変更します。	40	20ページ
ふる温度		ふる温度を変更します。	40	21ページ
湯はり量		自動湯はり運転の湯はり量を変更します。	180L	21ページ
湯沸しモード		タンクの湯沸し量を変更します。	高	17ページ
沸増し		タンクのお湯が足りないとき昼間の湯沸しをします。	切	18ページ
湯沸し停止日数		旅行などで湯沸しが必要ないとき設定します。	解除	19ページ
ふる予約運転		お好みの時間に自動湯はりを行います。	午後8時	25ページ
時刻合わせ		現在時刻を合わせます。	午後1時	14ページ
スイッチ操作音		スイッチ操作音の「入」「切」を設定します。	入	27ページ
表示	文字ガイド	文字表示によるガイド機能を設定します。	入	28ページ
	バックライト	液晶画面のバックライトを設定します。	30分自動消灯	29ページ
	コントラスト	液晶画面のコントラストを設定します。	5	29ページ
その他の機能	電力設定	ご契約の電力制度を設定します。	T08-1	15ページ
	設定クリア	設定モードの内容を初期化します。	クリアしない	30ページ
	水抜きモード	タンクの水抜きをするときに使用します。	切	31ページ

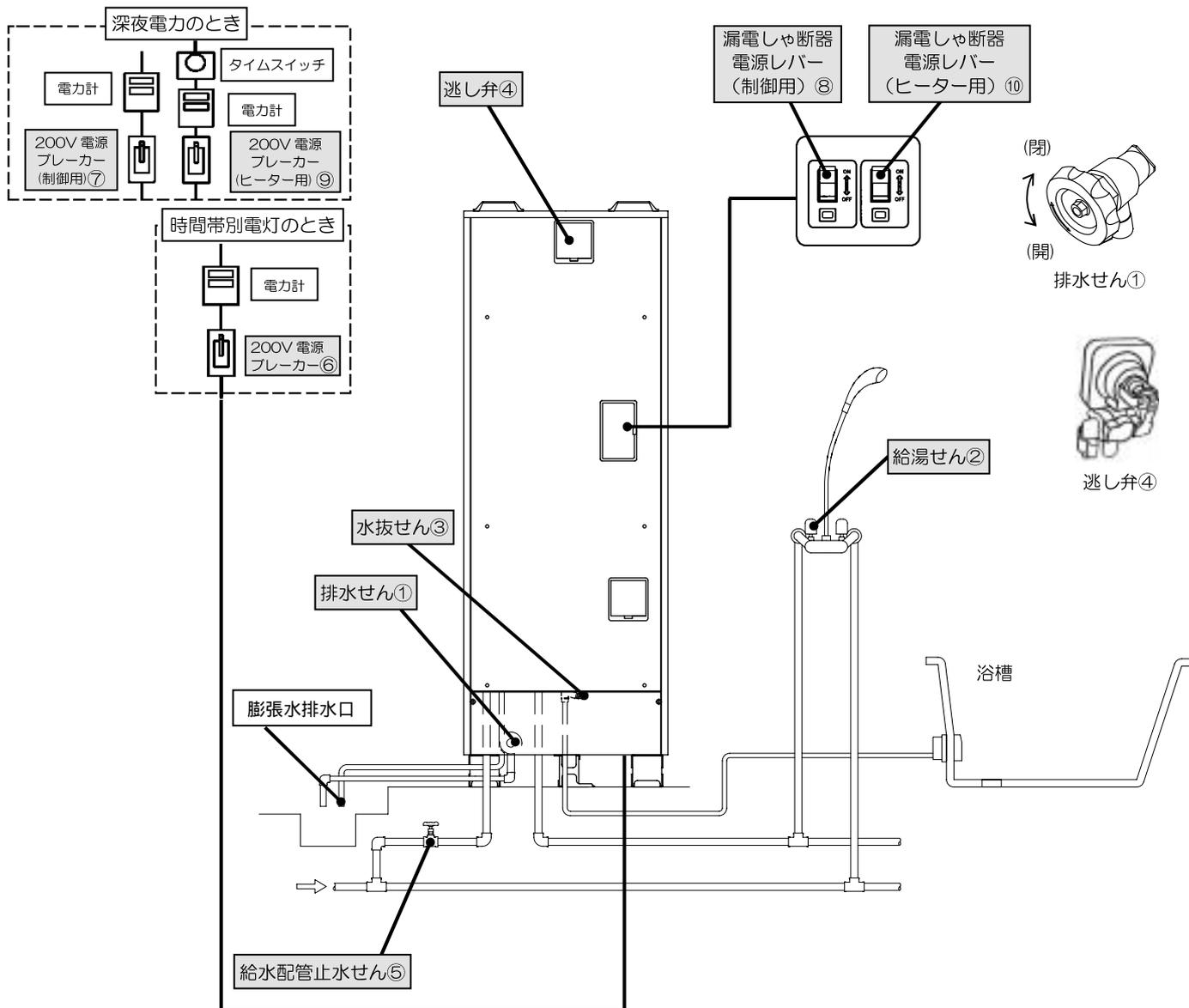
- ・フロントローラ EBCS-1 ,EBCS-3の給湯温度は優先権がある(“優先”表示の点灯)場合、表示されます。
- ・設定モード中に   以外のスイッチを押すと、設定モードは解除されます。

準備

温水器の使い始めや、水抜き後に温水器を使い始める場合は、次の手順で操作してください。

⚠ 注意

温水器のヒーターへの通電は、タンクの満水を確認するまで絶対に行わないこと。過熱し故障の原因になります。



使用前に

1 給水の準備をします。

1. 排水せん を閉じます。
2. すべての給湯せん を閉じます。
(開いていると給水に時間がかかることがあります。)
3. 温水器の水抜きせん を閉じます。

2 タンクを満水にします。

1. 逃し弁 のレバーを上げます。
2. 給水配管止水せん を開きます。
3. 膨張水排水口から水が勢いよく出てきたら、逃し弁 のレバーを下げます。
4. 給湯せん を開けて水が連続的に出ることを確認します。
(ワンレバー水せんやサーモ水せんなどの混合水せんの場合、高温出湯できる位置に調節して給湯せんを開けます。)
5. 給湯せん を閉じます。
(やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。)

【お知らせ】

タンクが空の状態から、満水になるまで約15～30分かかります。(機種により多少異なります。)
給水中に膨張水排水口から水と空気が混ざりボコボコと音がすることがありますが、異常ではありません。水が勢いよく出るまでお待ちください。

3 電源を入れます。

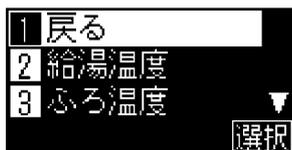
1. 200V電源ブレーカー を「入」にします。
(深夜電力のときは200V電源ブレーカー(制御用) と200V電源ブレーカー(ヒーター用) を「入」にします。)
2. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー(制御用) と(ヒーター用) を「入」にします。
3. コントローラの設定をします。
現在時刻の設定 ■➡ P14
湯沸しモードの設定 ■➡ P17
給湯温度の設定 ■➡ P20

現在時刻の設定

フロントローラで操作します

温水器の電源を入れたときには、必ず現在時刻を確認してください。
現在時刻が正しくない場合は、設定してください。

- 1 **設定** を押します。



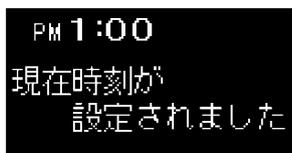
- 2 **【時刻合わせ】** を選びます。



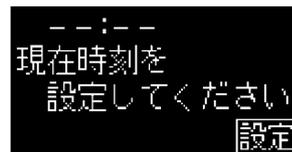
- 3 現在時刻を設定します。



- 4 時刻設定が完了します。

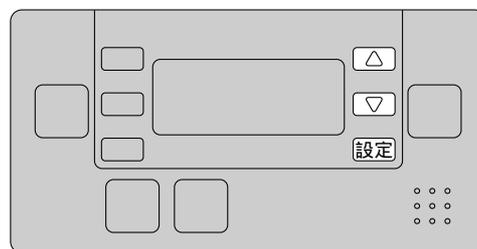


【お知らせ】
次の画面が表示することがあります。



設定 を押し ③ 以降に従って現在時刻を設定してください。

フロントローラ



ご使用の前に

ご注意

時刻が正しく設定されていないと電気料金が割高になることがあります。特に午前(AM)と午後(PM)を間違えないでください。
1ヶ月に1回程度、現在時刻が合っているか確認してください。

契約電力制度の設定

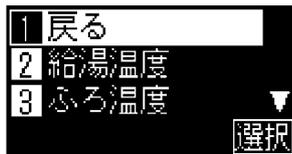
フロコンローラで操作します

契約されている電力制度を設定します。
深夜電力でご使用の場合は設定の必要ありません。(設定できません。)

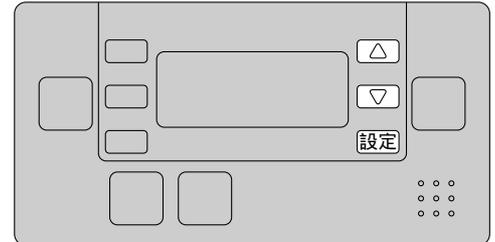
ご注意

時間帯別電灯の種類によって電気料金の安価な時間帯が異なります。
電力制度が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。

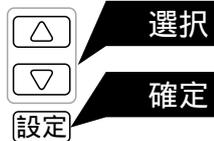
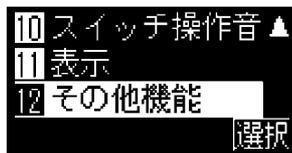
1 **設定** を押します。



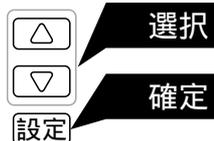
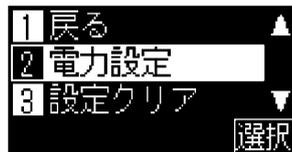
フロコンローラ



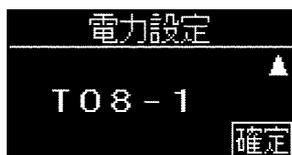
2 【その他機能】を選びます。



3 【電力設定】を選びます。

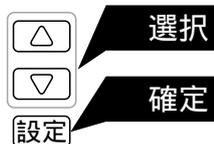
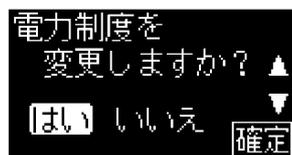


4 電力設定を選びます。(次ページ「電力制度の内容」参照)

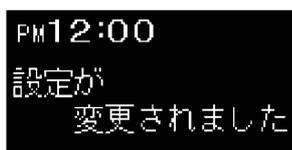


初期設定	T08-1
選択範囲	T08-1、T08-2、T08-3、 T09-1、T10-1、 S08-1、S08-2、S09-1、S10-1

5 【はい】を選びます。



6 設定が完了します。

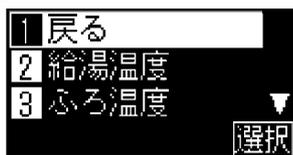


湯沸しモードの設定

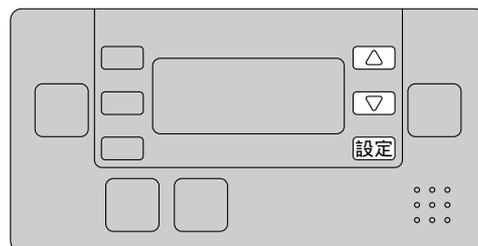
フロントローラで操作します

深夜（夜間）時間帯のタンクの沸き上げ温度を設定します。
湯沸しモードの設定は、ご家庭の湯の使用量に応じて設定してください。

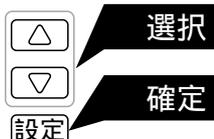
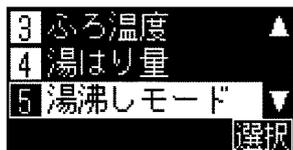
1 設定 を押します。



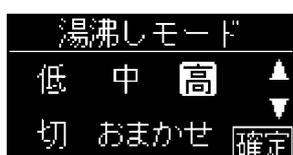
フロントローラ



2 【湯沸しモード】を選びます。

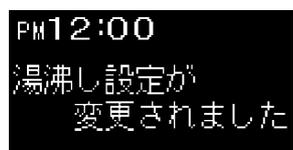


3 モードを選びます。



湯沸しモード	沸き上げ温度	特徴
高 (初期設定)	約88	初めて使う場合など、お湯の使用量目安をつけるときに便利です。
中	約80	お湯の使用量が少なく残湯量に余裕がある場合、維持費を抑えられます。
低	約70	維持費が少なくなりますが、湯切れする可能性があります。
切	湯沸し停止	使用しないとき。 (旅行などで短期間(15日以内)使用しないときは、「湯沸し停止日数」が便利です。)
おまかせ	約70～88	お客様の過去の使用量をもとに、最適な湯温で沸かします。

4 設定が完了します。

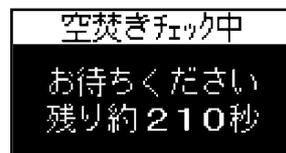


湯沸し中は画面右上に **湯沸中** が表示されます。



【お知らせ】

初回または停電復帰後のヒーター通電時は空焚きチェックを行います。(深夜電力設定の場合、初回ヒーター通電時のみ空焚きチェックを行います。)



ご注意

「おまかせ」「低」「中」設定の場合、来客などでお湯をたくさん使用すると、湯切れすることがあります。あらかじめ前日以前に「高」設定に切り替えてください。また、昼間の沸増し設定により湯切れを防止する方法もあります。
夜間時間帯に湯沸しモードを高い方に変更した場合は、湯温が設定より低くなる場合があります。水温が極端に低く、残湯量が少ない場合に設定が「高」であっても沸き上がり温度が88より低くなる場合があります。

ご使用方法（基礎編）

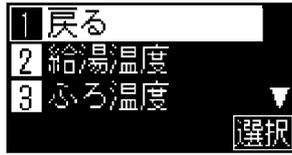
沸増しのしかた

フロコントローラで操作します

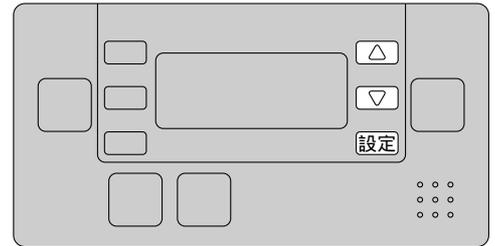
夜間の湯沸しで湯量が不足する場合や、来客などでいつもより使用湯量が増える場合に設定します。昼間の沸増しにより湯が足りなくなるのを防ぎます。

一度設定すると設定したその日に沸増しを行い、夜間の湯沸しが始まると自動的に解除されます。

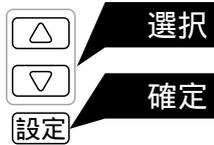
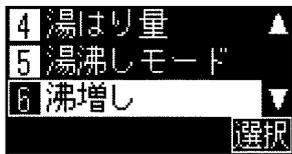
1 **設定** を押します。



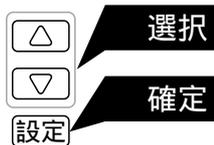
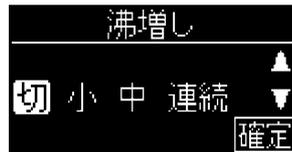
フロコントローラ



2 **【沸増し】** を選びます。



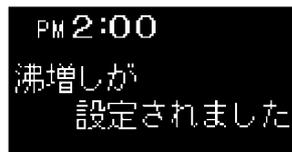
3 沸増し設定を選びます。



沸増し設定の内容

沸増し設定	内容
小	1時間ヒーターに通電します。
中	3時間ヒーターに通電します。
連続	随時ヒーターに通電し、88 で沸き上げます。

4 設定が完了します。



沸増し中は画面右上に **沸増中** が表示されます。
沸増しが完了するとその日の24時まで沸増し完了が表示されます。



【お知らせ】

沸増しは昼間電力でタンクのお湯を沸かすため、電気料金は割高になります。

途中で停止するときは③で「切」を選択してください。

「連続」はタンクのお湯が満タンになるように、その日の24時まで沸かします。

○残湯量が十分あるときは、沸増し設定後すぐには沸増し動作にいきません。

湯沸し設定によらず、沸上げ温度は88 となります。

○深夜電力設定の場合は沸増しの項目は表示されません。

湯沸し停止日数の設定

フロントローラで操作します

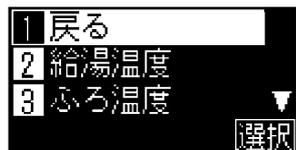
湯沸し停止日数を設定することで、湯沸しを停止することができます。
旅行などの留守中で湯が必要でない日の電気代を節約することができます。

湯沸し停止日数の決めかた（数日間旅行する例）

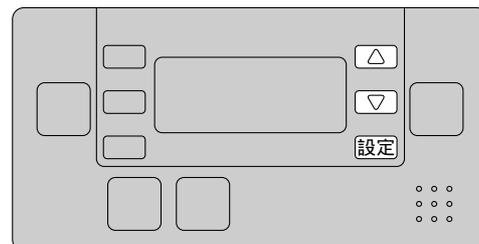
出発日に下記のように設定すれば、帰宅日にお湯が沸いています。

- ・ 1泊2日の旅行の場合 ⇨ 設定しません。
- ・ 2泊3日の旅行の場合 ⇨ 出発日に「あと1日」を設定。
- ・ 3泊4日の旅行の場合 ⇨ 出発日に「あと2日」を設定。

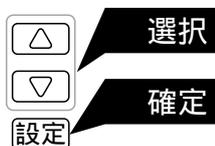
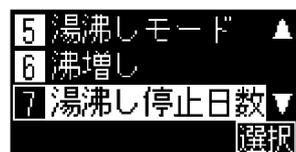
1 **設定** を押します。



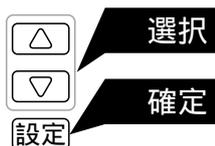
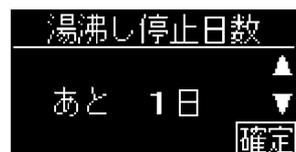
フロントローラ



2 **【湯沸し停止日数】** を選びます。

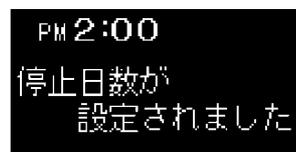


3 日数を選びます。



初期設定	解除
選択範囲	解除、1～15日

4 設定が完了します。



設定した日数が表示されます。日数は夜間時間帯終了時（AM7:00など）に1日少なくなります。



【お知らせ】

湯沸しを再開するときは③で「解除」を選択してください。

夜間時間帯終了時を基準に日数が計算されます。

24時以降の夜間時間帯（⇨ P15 契約電力制度の設定）に湯沸し停止日数を設定するときは、1日増やしてください。

給湯温度の設定

メインコントローラまたは
フロコントローラで操作します

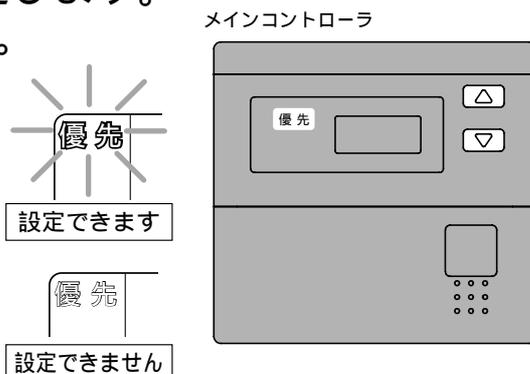
台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度を設定します。
給湯温度の設定は安全のため優先権のあるコントローラで設定できます。

注意
給湯温度の変更は、他の人が使用していないか（特にシャワー）確認してください。やけどの原因になります。

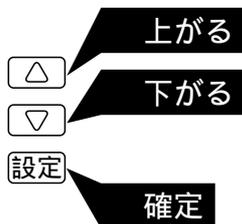
1 給湯温度を設定するコントローラを選びます。 フロコントローラの「優先」を押します。

押すごとに優先権が切り替わります。
“優先”表示が点灯しているコントローラ
で給湯温度を設定できます。
消灯していると設定できません。

EBCS-3, EMCS-3は、給湯をご使用時に
優先権の切り替えはできません。
フロコントローラ EBCS-2 の場合、「優先」は
ありません。②へ進みください。

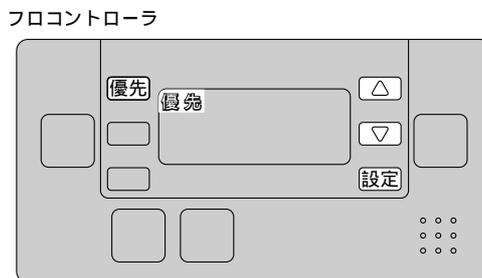


2 温度を選びます。

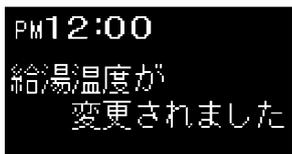


初期設定	40
選択範囲	水温、30、35~48（1刻み）、60

メインコントローラにおいて水温は“Lo”と表示されます。
EBCS-3, EMCS-3で、48 から60 に変更するときは **△** を約3秒間押し続けてください。



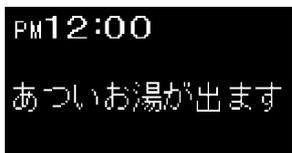
3 設定が完了します。



文字によるお知らせは、
フロコントローラのみで
行います。

ご注意
給湯は湯温を確かめて、湯温
が安定してから使用してくだ
さい。

60 に設定した場合は“高温”表示が約10秒間点滅した後点灯します。



【お知らせ】

設定モードからも給湯温度を設定することができます。➡ P11 設定モード
サーモスタット付湯水混合せんの場合は、温水器の温度設定を湯水混合せんより約10℃以上高くして
ください。
温水器からの出湯量が極端に少ない（1.8L/分以下）のときは温度制御を行いません。給湯せん
を絞りすぎないでください。
表示温度と実際の給湯温度は、配管長さなどで異なる場合がありますので目安にしてください。

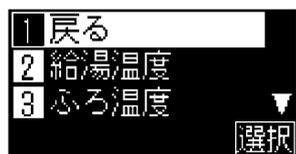
ご使用方法（基礎編）

ふる温度、湯はり量の設定

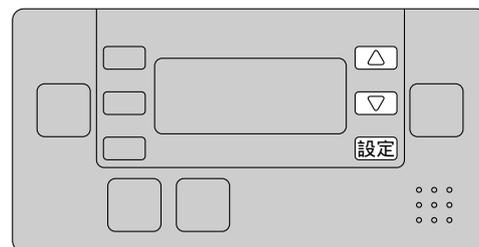
フロントローラで操作します

自動湯はりやたし湯するお湯の温度、自動湯はりの湯はり量を設定します。

1 設定 を押します。



フロントローラ



ふる温度

2 【ふる温度】を選びます。

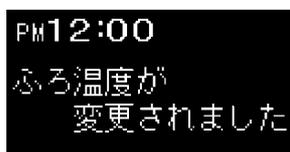


3 温度を選びます。



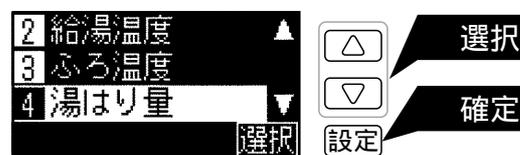
初期設定	選択範囲
40	水温、35～48 (1刻み)

4 設定が完了します。

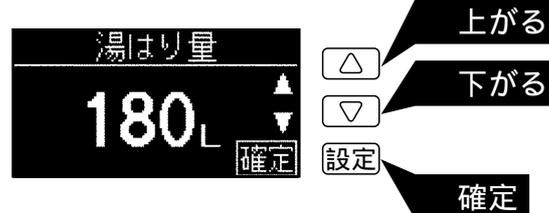


湯はり量

2 【湯はり量】を選びます。

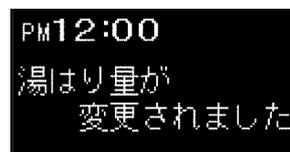


3 湯はり量を選びます。



初期設定	選択範囲
180L	100～400L (20L刻み)

4 設定が完了します。



ご使用方法 (基礎編)

【お知らせ】

コントローラのふる温度や湯はり量はあくまでも目安です。

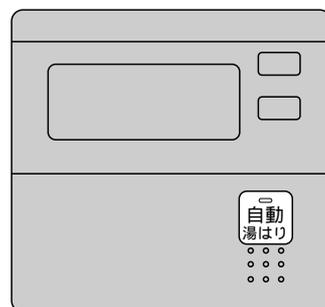
実際の浴槽内の湯温や湯はり量は気温や配管状況によって多少異なる場合があります。

自動湯はり運転のしかた

メインコントローラまたは
フロコントローラで操作します

自動でふるの湯はりができます。

メインコントローラ



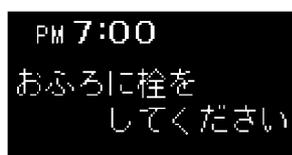
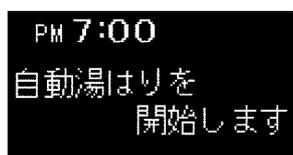
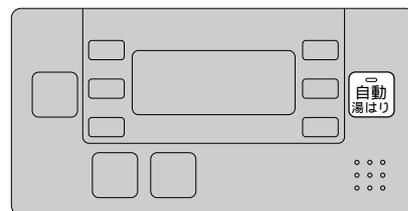
1 浴槽の排水せんとふたをしっかりと閉めます。

2  を押します。

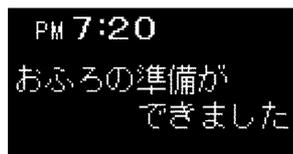
自動湯はりのランプが点灯し、湯はりを開始します。



フロコントローラ



3 湯はりが完了します。



湯はりが完了しておふるの準備ができると、文字とブザーでお知らせします。
(文字によるお知らせはフロコントローラのみ)

途中で止めるときは、もう一度  を押します。

ご使用方法 (基礎編)

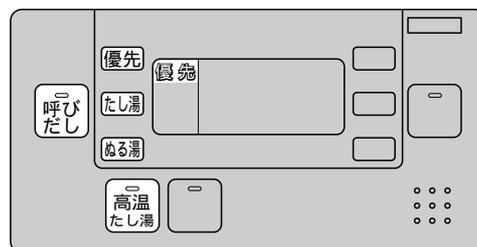
入浴中の操作

フロコントローラで操作します

注意

入浴中は、必ずフロコントローラを“優先”の状態にしてシャワーを使用してください。メインコントローラで“給湯温度”の設定を変更されるとやけどの原因になります。

フロコントローラ



【お知らせ】

ふる湯はり中は、たし湯、高温たし湯、ぬる湯はできません。
たし湯、高温たし湯、ぬる湯の開始直後は、配管内の残水が出ますので設定温度と異なります。

たし湯 浴槽のお湯が少ないときに押します。自動的にお湯をたすことができます。

たし湯 を押します。

“ふる温度”の湯が約20L浴槽のフロアダプタから出てきます。(自動停止)



途中で止めるときは、もう一度 **たし湯** を押します。

高温たし湯 浴槽のお湯がぬるいときに押します。

注意

高温たし湯をするときは、浴槽のフロアダプタから十分に離れてください。熱いお湯が出ますので、注意してください。

高温たし湯 を押します。

EBCS-3は、**高温たし湯** を約3秒間押し続けます。 **高温たし湯** 点灯

60 の湯が約20L浴槽のフロアダプタから出てきます。(自動停止)



途中で止めるときは、もう一度 **高温たし湯** を押します。

【お知らせ】

タンク内のお湯の温度が60 より低い場合はタンク内の温度で高温たし湯を行います。

ぬる湯 浴槽のお湯が熱いときに押します。自動的にお水をたすことができます。

ぬる湯 を押します。

約10Lの水が浴槽のフロアダプタから出てきます。(自動停止)



途中で止めるときは、もう一度 **ぬる湯** を押します。

呼出し

浴室から人を呼びだすときに押します。



呼びだし

を押します。

ランプが点滅しメインコントローラとフロコントローラのアラームが鳴ります。
フロコントローラ EBCS-2 には呼出し機能はありません。

解除する時は、もう一度  を押します。

チャイルドロック

お子様のいたずらや、誤操作を防ぎたいときに使用します。
スイッチ操作を受付ないようにすることができます。



優先 を約3秒押し続けます。

フロコントローラ EBCS-2 の場合  を約3秒間押し続けます。
アラームが鳴りチャイルドロックが設定されます。

PM 7:00
チャイルドロックが
設定されました

チャイルドロックが設定されているときは、メインコントローラに  ・フロコントローラに  が点滅します。

メインコントローラ

給湯
L 42

フロコントローラ

PM 7:00
おまかせ
給湯 48℃

(湯沸し関連表示の場合)

PM 7:00
給湯 40℃
180L

(ふろ関連表示の場合)

チャイルドロック中に  及び  以外のスイッチを押された場合は下記の表示を行います。

PM 7:00
チャイルドロック中

チャイルドロックを解除するときは、もう一度  を3秒間押し続けます。

フロコントローラ EBCS-2の場合、 を約3秒間押し続けると解除されます。

【お知らせ】

チャイルドロック中でも自動湯はり・たし湯・高温たし湯・ぬる湯の解除は受付ます。

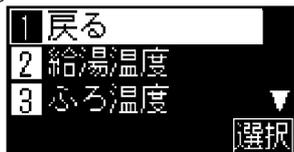
ふろ予約運転のしかた

フロコントローラで操作します

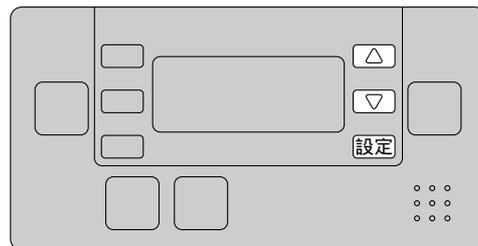
予約した時刻にお風呂に入れるように自動的に湯はりをします。

1 浴槽の排水せんとふたをしっかりと閉めます。

2 設定を押します。



フロコントローラ



3 【ふろ予約運転】を選びます。



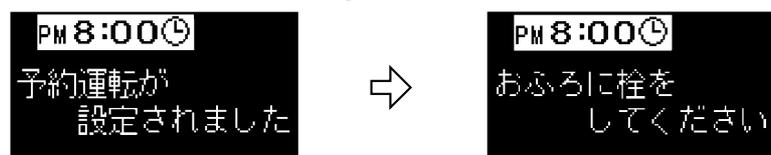
4 【入】を選びます。(解除するときは【切】を選びます。)



5 予約時刻を設定します。



6 予約設定が完了します。



コントローラに予約時刻が表示されます。



(湯沸し関連表示の場合)



(ふろ関連表示の場合)

【お知らせ】

予約設定は予約時刻の1時間以上前に設定してください。設定した時刻に湯はりが完了しない場合があります。

湯はりに中に、台所やシャワーなどで湯を使用すると、設定した時刻に湯はりが完了しない場合があります。

次のような場合は、予約運転が解除されます。

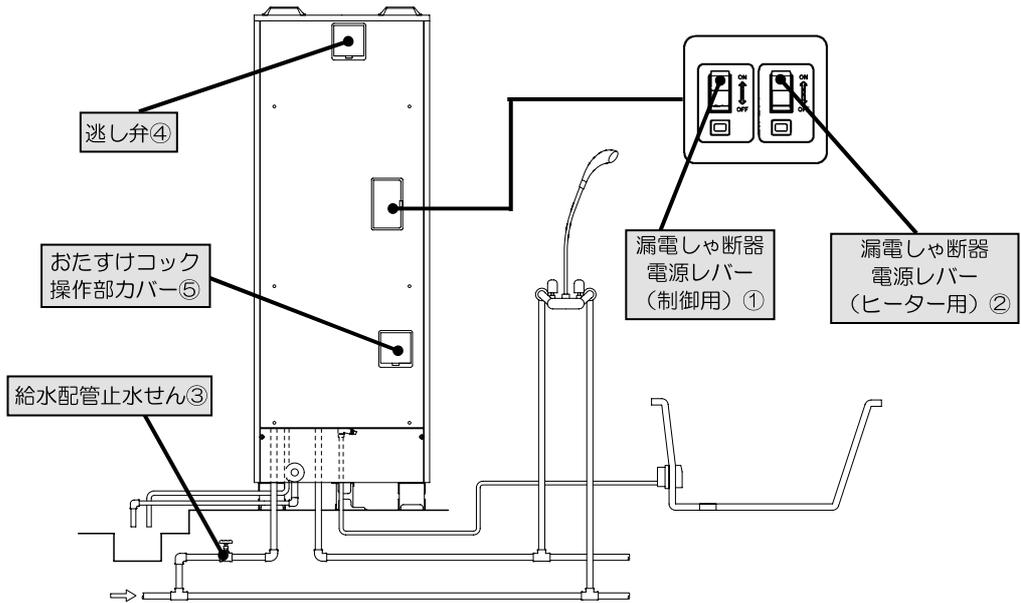
- ・予約運転中に現在時刻を変更した場合
- ・自動湯はりスイッチ（または、高温たし湯・たし湯・ぬる湯スイッチ）を押した場合。

おたすけコックの使いかた

温水器の内部に、おたすけコックの水せんがあります。
万一の非常時には水せんからタンクの水（湯）を出して使用することができます。

⚠ 注意

おたすけコックから熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。



ご使用方法（基礎編）

1 温水器の漏電しゃ断器電源レバー を「切」にします。

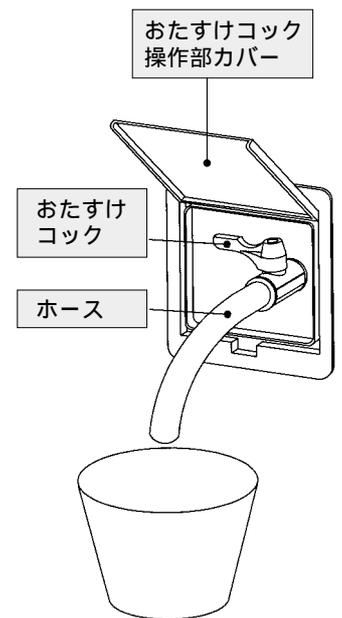
2 給水配管止水せん を閉めます。

3 逃し弁 のレバーを上げます。

4 おたすけコック操作部 のカバーを開けて、ホース を引き出します。

5 ホース の下にバケツなどを準備し、おたすけコック のレバーを開けます。タンク内の水（湯）が出てきます。

使用後は、おたすけコック が閉じていることを確認し、ホース を戻し、おたすけコック操作部カバー を閉じてください。



【お知らせ】

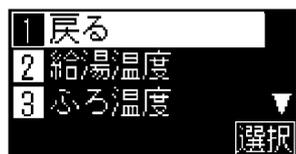
温水器を再使用するときは▶▶▶ P12 準備

スイッチ操作音の設定

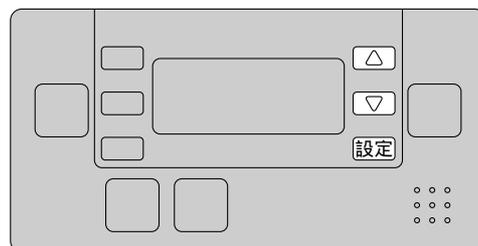
プロコントローラで操作します

スイッチ操作音の入切を設定します。
(両方のコントローラの設定が変更されます。)

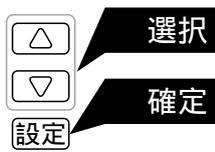
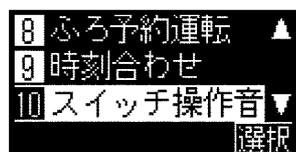
1 設定 を押します。



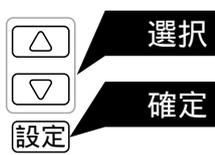
プロコントローラ



2 【スイッチ操作音】を選びます。

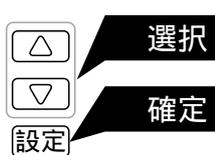
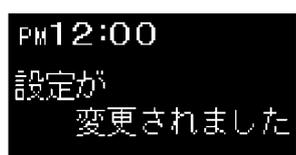


3 内容を選びます。



初期設定	入
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。



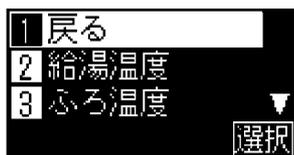
ご使用方法 (応用編)

表示の設定

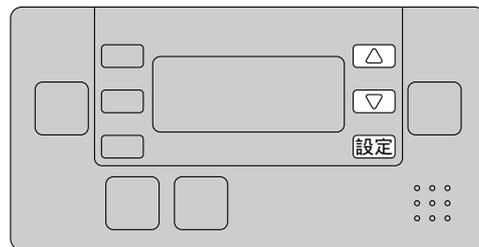
フロントローラで操作します

フロントローラの文字ガイド・バックライト・コントラストを設定します。

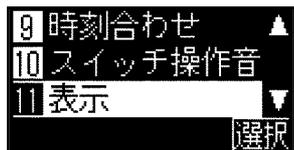
1 **設定** を押します。



フロントローラ

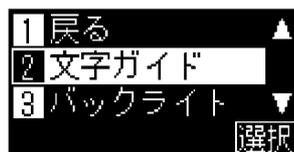


2 **【表示】** を選びます。



文字ガイド 文字表示によるガイド機能を設定します。

3 **【文字ガイド】** を選びます。

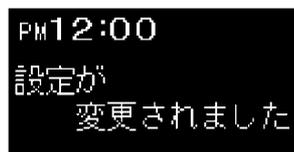


4 内容を選びます。



初期設定	入
選択範囲	入、切

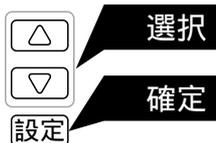
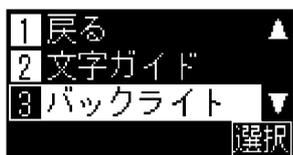
5 設定が完了します。



ご使用方法 (応用編)

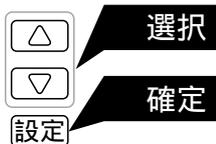
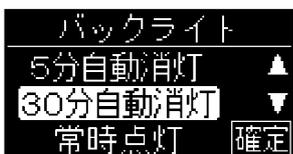
バックライト 液晶画面のバックライトを設定します。

3 【バックライト】を選びます。

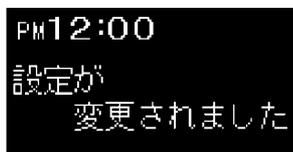


初期設定	30分自動消灯
選択範囲	5分自動消灯、 30分自動消灯、 常時点灯

4 内容を選びます。



5 設定が完了します。



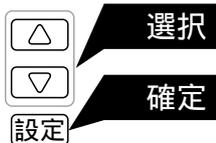
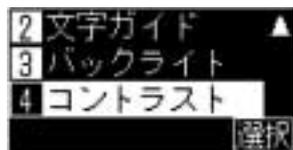
【お知らせ】

5分自動消灯、30分自動消灯：
バックライトが消灯しているときに
[△] [▽] [設定] を押すと、その動作
は行わず、まずバックライトが点灯
します。
また、温水器を使用されると液晶画
面のバックライトが自動点灯します。
使用をやめると設定時間後に自動消
灯します。

常時点灯：
常にバックライトが点灯します。

コントラスト 液晶画面のコントラストを設定します。

3 【コントラスト】を選びます。

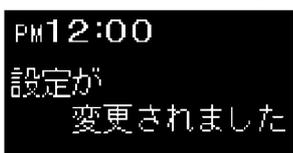


4 レベルを選びます。



初期設定	5
選択範囲	0 ~ 10 (1刻み)

5 設定が完了します。



【お知らせ】

コントラストのレベルを上げると表
示が濃くなります。レベルを下げる
と表示がうすくなります。

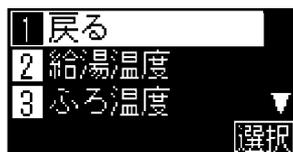
設定を元に戻す

フロントローラで操作します

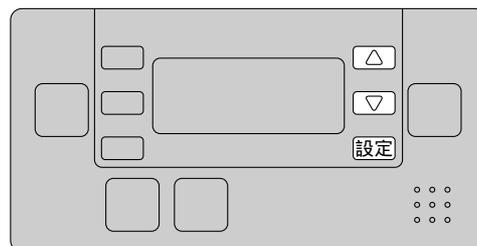
設定を最初からやり直したいときに使用します。
給湯温度や湯沸しモードなどの設定を初期化します。
ただし現在時刻・電力設定は初期化されません。

- ➡ P14 現在時刻の設定
- ➡ P15 契約電力制度の設定

1 設定 を押します。



フロントローラ



2 【その他機能】を選びます。



3 【設定クリア】を選びます。



4 【クリアする】を選びます。



初期設定	クリアしない
選択内容	クリアする、クリアしない

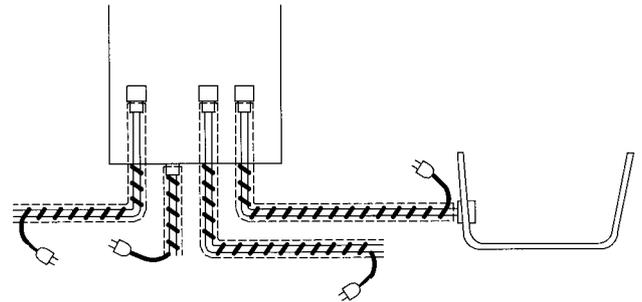
ご使用方法（応用編）

凍結予防のしかた

冬季は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0 以下になることがあります。配管が凍結すると温水器や配管が破損することがあります。地域にあった方法で凍結予防をしてください。

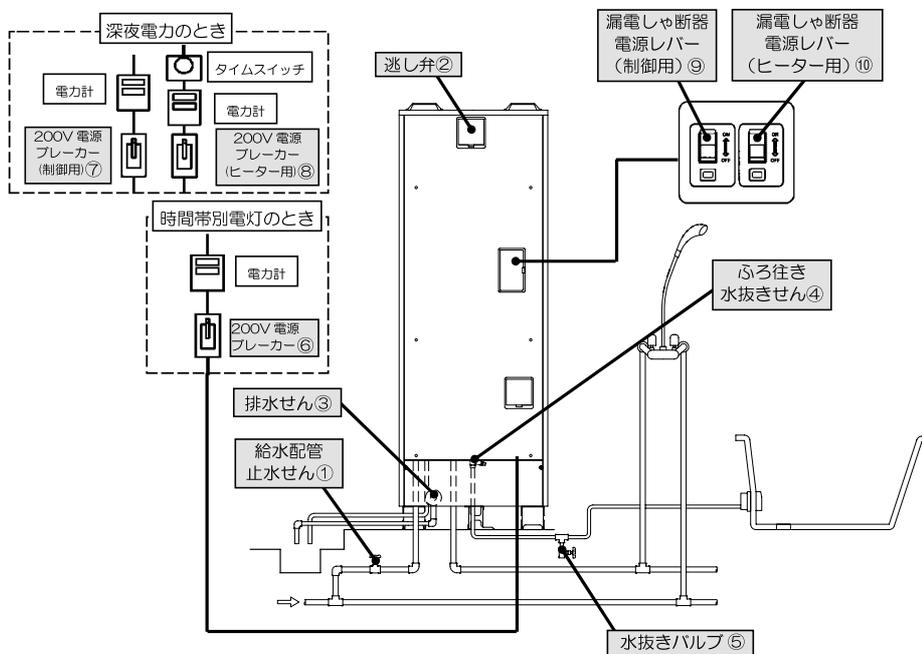
凍結防止ヒーターを巻く方法

- ・配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、通電して凍結を予防します。
- ・寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

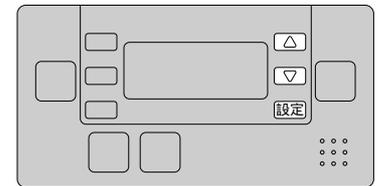


使用しないときは

フロントローラで操作します



フロントローラ

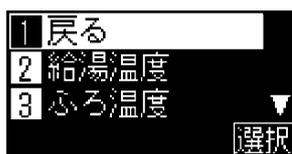


メンテナンス

長期不使用時 (温水器を1か月以上使用しないとき)

水質が変化することがありますのでタンクの水を排水してください。

1 設定 を押します。



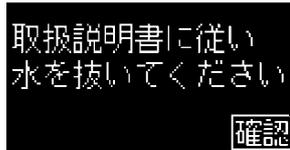
2 【その他機能】を選びます。



3 【水抜きモード】を選びます。



4 内容を読み [設定] を押します。

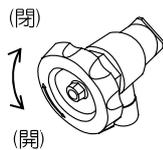


5 給水配管止水せん を閉じてから、逃し弁 のレバーを水平に上げます。



逃し弁②

6 排水せん を開きます。 排水するのに30～50分ほどかかります。



排水せん③

ご注意

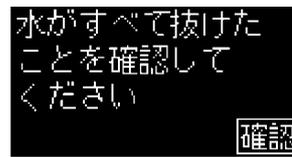
熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水してください。

7 タンクの排水が終わったら、温水器の水抜きせんを開きます。

・ふる行き水抜きせん

屋内の場合は洗面器などで水を受けてください。ふる配管に水抜きバルブ が設けられている場合は、開けて配管内の水抜きを行ってください。

8 内容を読み [設定] を押します。

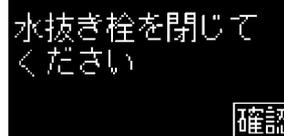


凍結予防運転を行います。

水抜き凍結予防
運転中

凍結予防運転は10秒ほどで終わります。

9 内容に従い、すべての水抜きせんを閉じ、[設定] を押します。



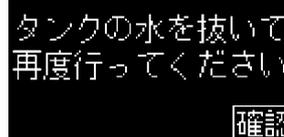
10 電源ブレーカー (または、と)と漏電しゃ断器電源レバー と を「切」にします。

電源ブレーカーと
漏電しゃ断器を
「切」にしてください

再びご使用になるときは
▶▶ P12 準備

【お知らせ】

⑤ で、給水配管止水せんが閉じられてないとタンクの排水がされず、水抜きができませんので、[設定] を押して、最初からやり直してください。



使用しないときは

短期不使用時（温水器を1か月未満使用しないとき）

- 1 電源ブレーカー（または と ）漏電しゃ断器電源レバー とを「切」にします。
- 2 給水配管止水せん を閉じます。
再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

ご注意

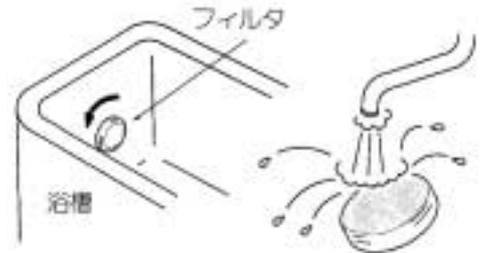
凍結のおそれがあるときは、1か月未満使用しないときでも「長期不使用時」の項にしたがってください。

日常のお手入れ

長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
安全にお手入れいただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

フロアダブタの掃除（日常）

1. フィルタを左に回してはずし、水洗いをします。
（指などをけがしないように気をつけてください。）
2. 元通りに取り付けます。
（取り付けがゆるいと故障の原因になります。）



配管の確認（日常）

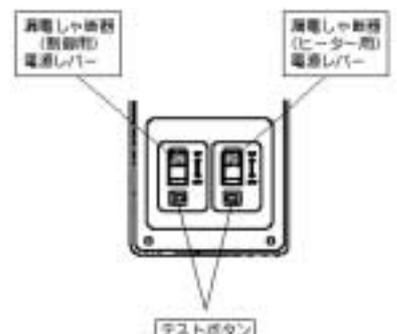
配管の保温材破損や水漏れなどがいないか確認します。
マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

現在時刻の確認（1か月に1回）

現在時刻がずれていると、電気料金が高くなることがあります。
時刻がずれている場合は、合わせなおしてください。（▶▶ P14 現在時刻の設定）

漏電しゃ断器の動作確認（1年に2～3回）

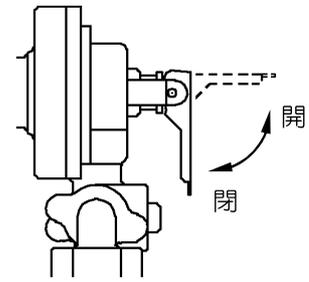
- 漏電しゃ断器の点検は電源供給中に行ってください。
1. 漏電しゃ断器のテストボタンを押します。
電源レバーが自動的に「切(OFF)」になれば正常です。
 2. 電源レバーを「入(ON)」に戻します。
制御用とヒーター用のそれぞれを確認してください。



日常のお手入れ

逃し弁の確認 (1年に2～3回)

1. 湯沸しをしていないとき（フロコンローラに **湯沸中** や **沸増中** がないとき）に、膨張水排水口から水（お湯）が出ていないことを確認します。
2. 逃し弁操作部のカバーを開け、逃し弁のレバーを上げて膨張水排水口から水（お湯）が出ることを確認します。
3. レバーを下げて排水が止まることを確認します。



⚠ 注意

膨張水排水口より熱いお湯が出てくる場合がありますので、やけどに注意してください。

コントローラ表面の掃除 (日常)

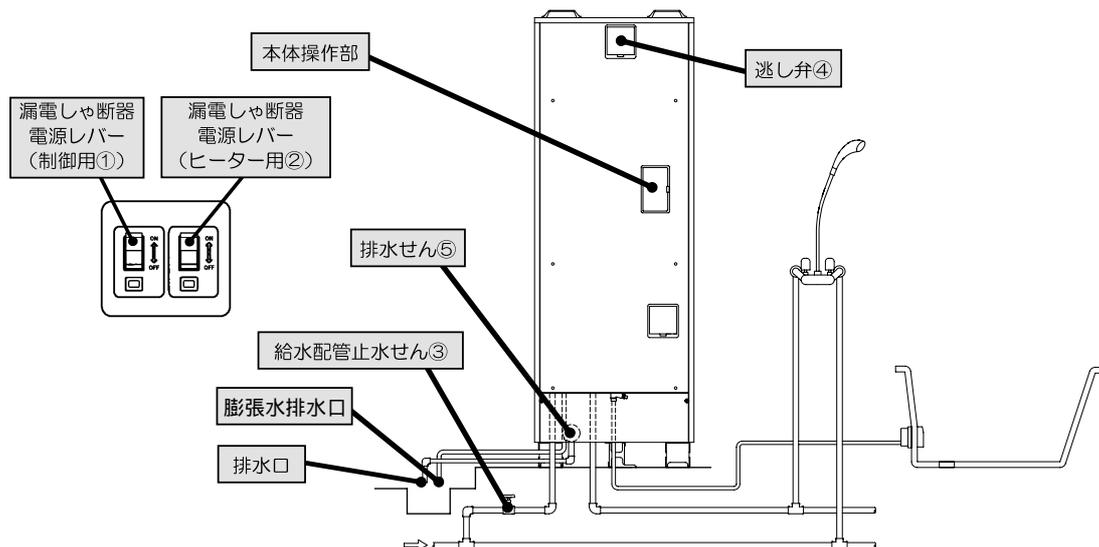
表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽くふき取ってください。

⚠ 注意

洗剤およびシンナー、ベンジンなどは使わないでください。

タンク内の清掃 (1年に2～3回)

1. 本体操作部の漏電しゃ断器の電源レバー（制御用 とヒーター用 ）を「切」にします。
2. 給水配管止水せん を閉じます。
3. 逃し弁 のレバーを上げます。
4. 排水せん を2分程度開け、水あかを流し出します。
5. 排水がきれいになったら排水せん を閉じます。
6. 給水配管止水せん を開き、膨張水排水口より水が勢いよく出れば逃し弁 のレバーを戻します。
7. 漏電しゃ断器の電源レバー（制御用 とヒーター用 ）を「入」にします。



⚠ 注意

膨張水排水口から熱いお湯が出てくる場合がありますので、やけどに注意してください。熱いお湯を流しめすと排水管を損傷するおそれがあります。残湯量表示が  以下を確認してから、排水してください。

定期点検のおすすめ（有料）

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、専門技術者による定期点検整備をおすすめします。定期点検整備は、温水器本体、機能部品、消耗部品などの点検、交換、清掃を行います。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の維持管理指針に基づいて点検してください。時期は、3～5年に1回程度をおすすめします。

逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては老化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。

また、お湯の逆流を防止するための逆流防止装置が正常に機能していることを確認する必要があります。長年にわたり（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品を保有していますが、長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検整備の主な内容

項目	内容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、配管保温材の確認、設置面の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、減圧弁の確認、逆流防止装置の確認、電気部品（配線・導通）動作確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、減圧弁・ストレーナ（フィルター）の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。点検の結果、部品交換に要する費用は、お客様にご負担いただきます。

逃し弁

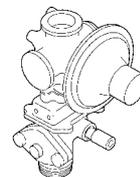
使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）の弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



減圧弁

その他の消耗部品：パッキン類・その他弁関係

上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

こんなときは故障ではありません

給湯の流量が少ないとき

給湯を2ヶ所で同時使用する場合など、給湯の流量が少なくなることがあります。コントローラの給湯温度を60 に設定し、湯水混合せんで混ぜてご使用いただくと、給湯の流量が増えます。また、お風呂などのシャワーでサーモスタット付湯水混合せんをご使用の場合、コントローラの給湯温度を60、サーモスタット付湯水混合せんを40程度に設定していただくと、より快適にご使用いただけます。

膨張水排水口からお湯が出ている

フロコントローラに **湯沸中** や **沸増中** が出ているときに膨張水排水口より湯が出てくるのは、故障ではありません。タンク内の水が湯になるときの膨張水が逃し弁から排水され膨張水排水口に出ます。

一晩で約6L～14L程度排水されます。(タンク容量により異なります。)

夜間になってもすぐに湯沸ししない

残湯がある場合や湯沸し設定が低い場合は、自動的に湯沸し開始を遅らせて、朝方に沸き上がるようにします。(ピークシフト機能)

お湯から油が出る、お湯が臭い

初めてご使用のとき、湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。約一週間使用しますと消えて正常になります。

設定した湯沸し量を沸かさない

- ・夜間時間帯に湯沸し設定を上げた場合は、設定まで沸き上がらないことがあります。
- ・フロコントローラに **湯沸中** が出ているときにお湯を使用した場合は、設定まで沸き上がらないことがあります。
- ・給水温度が低く残湯量が少ない場合は、設定まで沸き上がらないことがあります。

お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡となって出てくる現象で、全くの無害です。

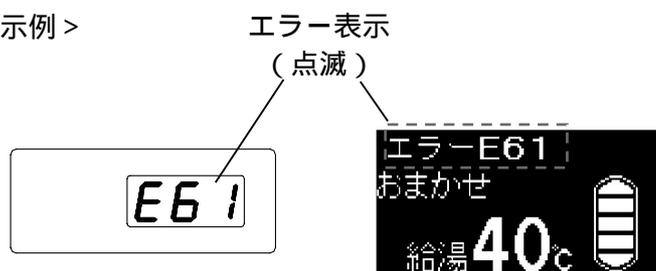
浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また銅配管から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなる場合がありますが、異常ではありません。

故障・異常の見分けかたと処置方法

コントローラにエラー表示された場合

<エラー表示例>



(メインコントローラ表示) (フロコントローラ表示)

お知らせ表示(お客さまが対処できる表示です。以下の処置をしてください。)

エラー表示	内容 (原因)	処置方法	エラー表示の解除方法
E 6 1	空焚き情報(タンクに水がない)	満水を確認してください。	漏電しゃ断器の電源レバーの「切」「入」動作で解除
E 7 1	タンク圧力低下	給水配管止水せんが開いているか確認してください。	正常復帰時に自動解除
E 8 1	沸き上げ用電源の異常(電源が供給されない)	200V電源ブレーカー、漏電しゃ断器が「入」になっているか確認してください。	正常復帰時に自動解除

上記にしたがって処置しても、再び表示したり不具合がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

その他の表示(下記の処置をして、販売店に連絡してください。)

エラー表示	内容	処置方法
E ** F ** U **	温水器の点検が必要です。	お買上げの販売店にご連絡ください。 その際は、製品名、品番、症状、エラー表示内容をあわせて連絡ください。

「**」には、数字が表示されます。

故障かな?と思ったら

こんなとき	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局にお問い合わせください (断水が終わるまでお待ちください)
	止水せんが閉じている	止水せんを開いてください
	配管部が凍結している	販売店にご相談ください
	減圧弁のストレーナが目詰まりしている	
お湯が沸かない	200V電源ブレーカが「切」になっている	「切」になっているときは「入」にしてください 2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	本体の漏電しゃ断器(制御用、ヒーター用)が「切」になっている	
	湯沸し停止日数が設定されている	湯沸し停止日数の設定を確認してください (▶▶ P19)
	コントローラの時刻が設定されていない	現在時刻の設定をしてください(▶▶ P14)

こんなとき	原因	処置
お湯がぬるい	湯沸し設定が使用量よりも少なめになっている	湯沸しモードを増やしてください (▶ P17)
	配管などが漏れている	販売店にご相談ください
	いつもに比べてお湯を使いすぎている	翌日までお待ちください 沸増しをしてください (▶ P18)
	タンクの給水温度が低い	
	前日の夜間湯沸し中にお湯を使った	
湯沸し中以外のときに、逃し弁の膨張水排水口からお湯や水が流れている	逃し弁の点検してください (▶ P34) 湯や水が止まらないときは販売店にご相談ください	
給湯温度を変更できない	コントローラが「優先」表示していない	フロコントローラの優先スイッチを押してください (▶ P20)
自動湯はりをしていない	残湯量表示でお湯がない	翌日までお待ちください 沸増しをしてください (▶ P18)
	タンクのお湯の温度が低い	
コントローラが表示しない	200V電源ブレーカが「切」になっている	「切」になっているときは「入」にしてください。 2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	本体の漏電しゃ断器（制御用）が「切」になっている	
	停電している	停電が終わるまでお待ちください
コントローラのバックライトが消える、勝手に点灯する	30分自動消灯モードまたは5分自動消灯モードになっている	必要に応じて常時点灯にしてください (▶ P29)
文字ガイドが出ない	文字ガイドが「切」になっている	文字ガイドを「入」にしてください (▶ P28)
浴槽のお湯があつい	ふる温度の設定が高い	ふる温度の設定を下げてください (▶ P21) 必要に応じてぬる湯を行ってください (▶ P23)
浴槽のお湯がぬるい	ふる温度の設定が低い	ふる温度の設定を上げてください (▶ P21) 必要に応じて高温たし湯を行ってください (▶ P23)
浴槽のお湯が多い	湯はり量の設定が多い	湯はり量の設定を下げてください (▶ P21)
浴槽のお湯が少ない	湯はり量の設定が少ない	湯はり量の設定を上げてください (▶ P21) 必要に応じてたし湯を行ってください (▶ P23)

アフターサービス

サービス（点検・修理）を依頼される前に

故障・異常の見分け方と処置方法（▶▶ P36～38）の項をもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

保証について

- ・本製品には保証書がついています。（別添）
- ・「保証書」はお買い求めの販売店が、お買い上げ日など所定事項を記入しますので、記載内容をご確認いただき、保証規定をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- ・保証期間であれば保証規定に従い、お買い求めの販売店が無料修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。

保証期間は、お買い上げ日より
本体：1年間、タンク：5年間です。

補修用性能部品の保有期間について

- ・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障・修理の際の連絡先

- ・保証期間経過後、修理を依頼される時は、まずお買い上げの販売店に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

修理のご依頼および消耗部品のご注文は、
『修理受付フリーダイヤル』

 0120 - 557 - 910

受付時間 9：00～18：00
（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

修理を依頼される際のお願い

ご連絡いただく際は、できるだけ具体的に故障の状況をお知らせください。また、電気温水器に貼付してあります製品名・品番・製造番号もあわせてお知らせください。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- ・技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- ・部品代は、修理に使用した部品及び補助材料代です。
- ・出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

タカラスタンダード株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認のために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務等に委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

事業所設置の際の規定事項

事業者様へのご案内

「労働安全衛生法施行令」改正について

1998年12月、「労働安全衛生法施行令」が改正され電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

労働安全衛生法施行令の規定において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

簡易ボイラー：事務所、一般家庭に設置できます。

設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

・取扱説明書記載対象機種名：

EM-3733K-SA EM-4633K-SA

小型ボイラー：労働安全衛生法施行令の改正により、小型ボイラーの対象範囲のうち電熱面積40kW以下、水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器を一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け、定期自主検査の義務はありません。なお、日常のお手入れは必要です。事務所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。

・取扱説明書記載対象機種名：

EM-2033KKU-SA EM-2033KU-SA EM-3733KU-SA EM-4633KU-SA

事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用からはずれます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

設置報告

事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

定期自主検査

事業者様は高圧力電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

特別教育

事業者様は高圧力電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために特別教育を実施することが義務づけられています。

事故報告

高圧力電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業所設置の際の規定事項

事業所設置の際の規定事項

設置報告（適用法令 ボイラー及び圧力容器安全規則第91条）

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がありますので事業者様は、小型ボイラー設置報告書に構造図¹及び小型ボイラー明細書¹並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面²を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

- 1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。
- 2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査（適用法令 ボイラー及び圧力容器安全規則第94条）

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体	・製品本体からの水漏れの有無 ・逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・漏電しゃ断器の動作状況 ・タンクの手入れ
配管	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の（33ページ）「日常のお手入れ」を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育（適用法令 ボイラー及び圧力容器安全規則第92条）

事業者様は小型温水ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の科目 ボイラーの構造に関する知識 ボイラーの付属品に関する知識 関係法令 小型ボイラーの運転及び保守 小型ボイラーの点検
--

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。

同梱の取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行ってください。

事故報告（適用法令 労働安全衛生規則第96条）

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故などが発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

仕様

型式 (機種名)	高圧力型電気温水器			標準圧力型電気温水器		
	EM-2033KKU-SA EM-2033KU-SA	EM-3733KU-SA	EM-4633KU-SA	EM-3733K-SA	EM-4633K-SA	
適用電力制度	「時間帯別電灯」 / 「深夜電力通電制御型(8時間)」 切替型					
タンク容量	200L	370L	460L	370L	460L	
非常用有効貯水量	150L	275L	365L	275L	365L	
定格	電圧	ヒーター：単相200V 50/60Hz 制御用：単相200V 50/60Hz				
	ヒーター消費電力	2.4kW	4.4kW	5.4kW	4.4kW	5.4kW
	制御用消費電力	19W ~ 待機時 4W				
	凍結防止ヒーター消費電力	16W				
外形寸法	高さ	1890mm	1790mm	2125mm	1790mm	2125mm
	幅	630mm	630mm	630mm	630mm	630mm
	奥行き	580mm	730mm	730mm	730mm	730mm
設置場所	屋外・屋内兼用型					
質量(満水時)	61kg(261kg)	72kg(442kg)	81kg(541kg)	72kg(442kg)	81kg(541kg)	
給水方式	水道直結(減圧弁内蔵)					
最高使用圧力	0.17MPa			0.1MPa		
接続口径	給水接続	R3/4ねじ(20A)				
	給湯接続	R3/4ねじ(20A)				
	ふる接続口(往き)	R1/2ねじ(15A)				
	排水接続口	R1/2ねじ(15A)				
	膨張水排水口	16ホース口				
	安全弁排水口	10ホース口				
浴槽設置範囲	階上	本体設置面より浴槽あふれ縁まで4m以内		本体設置面より浴槽あふれ縁まで2m以内		
	階下	本体設置面よりフロアダプタ位置まで4m以内				
温水器沸き上げ温度	高(88) 中(80) 低(70) おまかせ(70~88)					
給湯機能	給湯温度設定	水温 / 30 / 35~48 (1刻み) / 60				
	給湯検知最小流量	1.8L/min				
ふる機能	湯はり量	100~400L (20L刻み)				
	湯はり温度	水温 / 35~48 (1刻み)				
	高温たし湯	20L(60以下)				
	たし湯	20L(設定温度)				
	ぬる湯	10L(水温)				
コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> ・コントローラセット EMSA - CSK (メインコントローラ：EMCS - 1 , フロコントローラ：EBCS - 1) ・フロコントローラ EBCS - 2K ・コントローラセット EMSA - CS(M) (メインコントローラ：EMCS - 3 , フロコントローラ：EBCS - 3) のいずれか。 					

愛情点検

長年ご使用の電気温水器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- ・設置場所がぬれている。
- ・お湯の出が悪い。
- ・お湯がぬるい。
- ・時々漏電しや断器が動作する。
- ・その他、異常・故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、
200V電源ブレーカーを
切り温水器専用止水せん
を閉じてから販売店（据
付工事店）または、修理
受付フリーダイヤルに点
検・修理（有料）をご相
談ください。

タカラスタANDARD株式会社

〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL 06(6962)1531(代)